

令和4年度 第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会 議事録概要

会議名称	第2回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会
開催場所	加古川市役所北館 4階 大会議室
開催日時	令和4年10月17日(月) 19時10分から21時30分
出席者	委員：住友剛(職務代理者)、曾我智史、吉田圭吾 ※浅野委員、菱田委員は欠席 事務局：織田信吾、稲岡剛、岸田直也、桐山朋宏、杉本達之、松尾光隆、今津幸央、真鍋裕美、大西健司、藤尾昌也、辻俊幸、山下純一、伊藤良介、田中啓介、寒川真理子、飯島健太郎、中塔貴志、今井淳二
会議次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 (1) 令和4年度1学期いじめ防止対策の取組状況について 資料1 別添資料①～③ (2) 令和4年度1学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況自己点検について 資料2 (3) いじめ防止対策改善基本5か年計画終了後のいじめ防止対策の方向性について 資料3 (4) その他 4 令和4年度 第3回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について 5 閉会 6 学校での対応事例について(非公開)
配布資料	1 次第 2 令和4年度1学期いじめ防止対策の取組状況 資料1 別添資料①～③ 3 令和4年度1学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況自己点検 資料2 4 いじめ防止対策改善基本5か年計画終了後のいじめ防止対策の方向性について 資料3 5 学校対応事例(非公開)
傍聴者	4名(一般)

会議要旨(発言者、発言内容、審議経過等)	
(委員長)	議事(1)、議事(2)及び議事(3)については、通常通り進める。6の「学校での対応事例」については、個人や事案が特定できる可能性のある情報を含むため、非公開とする。  <b>3 議事</b> (1) 令和4年度1学期いじめ防止対策の取組状況について
(事務局)	<事務局報告> 資料1について
(委員)	スクールロイヤーの法律上の助言だけでなく、スクールサポートチームとして議論をして学校に助言することが必要である。また、その助言を受けて教育委員会や学校がどのように対応したかを示していただきたい。

(委 員)	今後、教育委員会の施策だけではなく市長部局の施策にも子どもの意見を反映させていく取組が必要である。
(委 員)	アセスにおける非侵害的関係の要支援生徒の数が少ないことが気になる。支援対象に入らない生徒に対しても声かけ等、掘り起しが大事である。
(委 員)	いじめ防止市民フォーラムでの提言等、子ども達の生の声を聞くことは非常に大切である。
(委 員)	いじめは子ども達が自主的に解決することが望まれ、それに対して教職員が後方支援するというスタンスが子ども主体という観点からも大事である。
(事務局)	今後スクールサポートチームで会議を開いて協議する場を設けていきたい。助言をいただいた後も学校と教育委員会でよく協議して対応していきたい。
<b>(2) 令和4年度1学期各学校におけるいじめ防止対策の取組状況自己点検について</b>	
(事務局)	<事務局報告> 資料2について
(委 員)	いじめの未然防止をするうえでも、教師の同僚性を確保するということが学校経営の中で重要な視点として位置付けていただきたい。
(委 員)	学校の年間スケジュールにおいて、命を守ることに関わる取組を最初に行うべきである。
(事務局)	命を守る取組の重要性を再確認し、優先的に行っていくことを検討したい。
<b>(3) いじめ防止対策改善基本5か年計画終了後のいじめ防止対策の方向性について</b>	
(事務局)	<事務局報告> 資料3について
(委 員)	個別支援策がしっかりと作成されているか、また支援策に基づいた支援が継続的に行われているか、さらにその支援策を再アセスメントして見直しができているかを意識していただきたい。
(委 員)	保護者対応するうえで、いじめに対する概念に温度差があっては理解いただけないことがある。いじめ防止対策推進法に規定するいじめの定義について、家庭にも理解してもらうような施策も考えていかなければならない。
(委 員)	部活動の地域移行など学校管理下に置けないような状況でのいじめ対策について考えていく必要がある。
(委 員)	経験の多寡に関係なく意見が言えるような風通しの良い職場づくりが必要である。

(委員)	いじめを認知する力の向上がさらに必要である。
(委員)	発達障害がある児童生徒への理解とその児童生徒に対するいじめや不登校への対応策を考えていく必要がある。
(委員)	保護者や地域住民を含めた子どもの権利条約の理念を確認したコミュニティを形成することが必要である。
(委員)	子どもの意見や思いに気づけるような感性を教職員が磨いていく必要がある。
	<p>4 令和4年度第3回加古川市いじめ防止対策評価検証委員会の開催について 令和5年2月20日(月)に開催する。</p>
	<p>6 学校での対応事例(非公開)</p>
	以上